

令和6年度 事業報告

社会福祉法人 藤嶋会 全体

令和6年度も新型コロナウイルスを始め、インフルエンザやノロウイルス感染症が猛威を振るう中、職員一丸となり感染症への対策を徹底して行いました。

2025年度問題へ対応し、人材確保を行うために、定年制度や給与規定の見直しに着手しました。

事業収支上では、物価高騰の影響は大きく、生活インフラに関わる費用をはじめとし、運営に必要な生活必需品や物品の高騰は、全ての品目に及んでいます。

特別養護老人ホームあかりでは、感染症防止を最優先とし、事故防止、虐待防止を徹底し、利用者様が日々の生活に満足いただけるように尽力しました。

津山クリニックは、ワクチン接種の減少もあり、予防医療実績が低下しましたが、多様な診療科目の医療提供により、地域医療貢献を果たしています。

東和ほほえみ保育園岡山においては、活発化する保育園行事に各種感染症対策を実施しながら対応し、計画通り実施することができました。企業の従業員だけでなく、一般地域枠の園児募集や一時預かり保育の実施により、職場環境支援と地域貢献双方の役割を担いました。

今後も、法人全体のリスクマネジメントに取り組み、業務改善、健全経営を行っていきます。

法人本部

定期理事会・評議員会の開催。

- (1) 法人運営会議の運用により、各拠点と経営との情報共有を行いました。
- (2) 行政、関係機関との連携強化を図り、円滑な法人運営に努めました。
- (3) 税理士法人との情報交換、共有により法人の財務健全性強化を図りました。
- (4) 2025年問題に対応するため、ハローワークや各学校と連携し、人材確保に向けた活動を強化しました。

特別養護老人ホームあかり

あかりの基本理念である「常に進化し続ける施設です」の再構築の基

- (1) 施設・スタッフ・サービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和6年度も多種感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、事故防止、虐待防止徹底の上、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

- (2) 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者、利用者、職員の健康維持と健康管理の充実を図り、「医療・介護・介護予防・生活支援」の総合サービスを提供することができました。
- (3) 新規入居時や新規及びリピートでのショートステイ利用時の抗原検査を引き続き毎回実施し、多種感染症について感染者はゼロを達成しています。
- (4) 勝央町内5社会福祉法人で活動する、「勝央町福祉ネット金時」との連携による地域包括ケアの構築を目指し、地域小学校での福祉体験講座を開催、継続しながら高齢者疑似体験を行いました、また、災害ボランティアの確立のために地域貢献活動を行っています。

津山クリニック

- (1) 基本理念である『地域に寄り添う保健室』を継続目標として取り組み、他医療機関と連携しつつ、医療福祉サービスを提供しました。
- (2) 多様な診療科目の医療提供に取り組み、地域貢献を果たしました。
- (3) 津山市医師会からの要請に答え、当番医制度への対応により、地域医療福祉に貢献しました。

東和ほほえみ保育園岡山

- (1) 保育理念を「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」とし、地域の子育てをサポートし、地域の働きやすい職場環境創りに貢献しました。
- (2) 今までできていなかった保育研修に組み、他施設の見学研修を実施しました。各園の取り組みを学び、当園の保育環境のさらなる見直しを行いました。
- (3) 安全対策委員会の運用により、毎月のヒヤリハットを検証し、事故防止に向けての環境改善や注意事項の検証を行い、全職員に周知徹底を図りました。
- (4) 感染対策委員会の開催により、園内の感染対策について検討し、玩具、保育室の消毒などの環境整備を徹底し、感染症予防に努めました。

令和6年度 事業報告書（案）

社会福祉法人藤暢会
法人本部

概要

長期化するウクライナ紛争により、世界情勢が不安定となり物価上昇に歯止めがかからない状況が続き、高騰する物価対応に苦慮した1年でした。

国内では2025年問題を目前に控え、少子高齢化が進む中、人材確保に努め安定した介護・医療・保育のサービスを提供する体制構築に努めました。実際に2024年は、物価高騰や人材不足等を要因とした介護事業者の倒産が統計開始以来過去最多の件数となりました。社会福祉法人の運営を取り巻く環境は厳しさを増しています。

人材確保が重要性を増す中、定年後の雇用体制の見直しや給与体系の見直しに着手し、就業規則の変更を行いました。健康年齢は上昇し、65歳以降の高い労働意欲と法人側の人材確保の必要性に対応する変更を行いました。

新型コロナウイルスは5類移行後も油断できない感染の広がりを見せ、インフルエンザ等の感染症も猛威を振るいました。コロナ禍に中止していた各種行事や社会活動が活発化する中、感染防止対策実施等全力で各拠点の後方支援を行いました。

令和6年度重点課題と対応状況

① 感染症対策

各事業拠点における感染対策や対応を踏まえつつ後方支援を行いました。社会活動が活発化する中、求められる支援対応を検討し、限られた人員の中ですが活動を行いました。

② 2024年介護報酬改定

安定した法人施設運営には、財務基盤の確立が必須要件となります。介護報酬改定による影響を調査検討し、効率的な資金管理により、安定した法人運営に注力し、各拠点で発生する様々な資金ニーズに対応を行いました。今後も調達、運用のバランスを図りつつ安定した資金管理を行っていきます。併せて、寄付金募集強化を図っていく方針です。

財務の健全性を強化するため、税理士法人との連携、金融機関との関係強化につとめていきます。透明性が求められる社会福祉法人の、財務面の健全化に引き続き注力していきます。

③ 各種ハラスメント対応

多様化する各種ハラスメント問題に対応するため、笹井社会保険労務士と契約し、外部相談窓口を設置しました。

近年増加するカスタマーハラスメント対応策として、笹井社会保険労務士事務所によるカスハラ勉強会を開催しました。「あかり」のカスハラ対策として、電話録音機能の追加やボイスレコーダーの購入を行いました。

法人本部運営状況

地域連携として、行政、関係各機関との連携を強化し、円滑な事業運営に注力してきました。また、社会福祉法人としての責任を全うするため、各機関との連携、調整を更に強化していきます。

今後の法人本部運営

① バックオフィス（後方事務）強化

- ・ 2025年問題・2040年問題への対応（人材確保）

国民の3割が高齢者となる2025年問題、2040年には高齢者がピークを迎え2040年問題としてクローズアップされ、労働者確保に苦慮すると言われていましたが、すでに労働者確保がままならず、廃業・倒産に至る企業や業態も出始め大きな問題となっています。人材確保に対応すべく就業規則や給与規定の変更を行いました。法人の存続には職員確保は必須問題です。今後も安定した職員確保に向けた施策を検討・実施していきます。

② 財務の安定

長期的に安定した法人運営のための財務基盤の確立を目指し、収支管理を強化し効率的な資金運用に注力しました。

- ・ 全拠点の事務経理職員による収支や、経営状態の把握の徹底。
- ・ コスト意識の強化、上昇。

③ 福祉サービス品質の強化支援

各拠点で提供する福祉サービスの品質をチェックし、改善・向上が出来るように支援を行いました。

- ・ ヒヤリハット、苦情要望等の吸い上げによる各拠点支援。
- ・ 各事業拠点での事故発生を抑止するための、リスクマネジメント強化。
- ・ 県北部の大学、専門学校、高校への採用活動の推進。
- ・ 職種、役割等で求められる能力、資質向上に向けた研修棟の受講推進。

令和6年度 事業報告書（案）

特別養護老人ホーム あかり

事業環境を見据えた人材の確保は新入職について苦戦し課題も残しながら、特養、ショートステイ共に入居者、利用者様が多種感染に罹患することなく、職員全員の努力、協力、団結の下、安定した事業運営に努めることができました。

I C T機器による業務技術改善から得る介護職員の効率的生産性の向上については、現場におけるタブレット機器の活用により、各セクションにおけるデジタル化により連携を行うことができました。

また、各地で起きている甚大な水害、地震、火災や、特にコロナウイルス感染症等の感染に対し、持続可能な介護サービスの提供ができるよう、BCPによる定期消防、避難誘導訓練や水害（垂直避難誘導）・地震災害訓練や関係機関等連携し、施設の運営に備えることを責務として取り組みました。

そんな中でも、認知症予防や健康で生活のできる高齢サービスを充実させるとともに、あかり拠点では『医療・介護・介護予防・生活の支援』を令和6年度も総合的に提供することができました。

この作州・勝央地域において包括的に対応できる質の高い施設ケアの提供や公益的取り組みの活動により、地域における『共生社会、自立支援、重度化防止』が高齢者、一人一人の暮らしや生きがいになるように、必要に応じた受入れの対応や、温かい施設づくりを職員全員で継続しながら取り組みました。

1. 事業報告

● あかり基本理念4項『常に進化し続ける施設です』再構築の基

施設・スタッフ・サービスの改善やレベルアップに重点をおきながら、令和6年度は多種感染防止を引き続き最優先に事業運営を行い、また、事故防止、虐待防止徹底の上、入居者様及び利用者様が日々の生活にご満足いただけるようなケアの提供に尽力しました。

I C T (情報通信技術) 機器の導入について

- ⇒ ロボット等の導入の検討を図りましたが、加算取得における体制の確立ができず未取得となりました。
- ⇒ 人材不足の対策及び業務効率化については、機器類で職員の負担軽減を図りながらも介護ケアの質の向上を図りながら、適材適所への職員の補充は課題となりました。

介護人材の育成・確保・職員の資質向上・介護サービスの質の向上

- ⇒ 介護福祉士実務者研修の実習施設として感染防止徹底の上で研修を継続し、地域福祉を担う人材育成や輩出に協力や貢献をしました。（7月～10月開催）
- ⇒ 認定特定行為業務従事者（2号）基本・実地研修開催を施設看護師と検討した上で、実務者研修業者同様に連携し、施設職員の取得増を目指しました。令和6年度（9月～10月開催）は4名が取得できました。（現在11名取得済）
- ⇒ 施設介護福祉士から介護支援専門員資格取得を応援し、ケアマネ受験のサポートを行いました。（受講1名）
- ⇒ ユニット・リーダー研修取得新規1名→結果受講無。
- ⇒ 防火管理者資格取得目標2名→結果1名取得。
- ⇒ 各職種によりZOOM研修等に各部門から参加→結果会場受講可能な範囲で参加しZOOM研修は少数のみとなりました。

2. 介護報酬改定の対応と職員処遇改善により経営の効率化

- ⇒ 1. 令和6年度中に取得予定としていた処遇改善加算①取得について取得となりました。
- ⇒ 2. 処遇改善加算①の取得により介護職員並びに各部門職員に処遇改善を行いました。

3. 安全管理対策

- 年2回の避難誘導、消火訓練を自衛消防において実施しました。また、地元自治体の福祉緊急避難所としての準備をしております。
- ⇒ 災害BCP定期訓練の実施、避難確保計画に基づき水害、地震のBCP訓練を行いました。（自衛消防水害想定垂直避難訓練実施）
 - ⇒ AED及びタッピング法蘇生訓練の実施（職員救急救命士指導）→訓練実施時期が図れず両訓練共に中止としました。

4. 介護保険の安定的運営を行う。（介護サービス利用支援）

医療・福祉・介護相談に対応するため、独居高齢者や要介護者が益々増加している中、『認知症予防、自立支援、重度化防止』の防止策として、多様な専門スタッフによる相談窓口の充実を図り、『地域の声・悩み・相談』に手を差し伸べる施設計画でしたが、コロナ感染症やインフルエンザ拡大の警戒や防止のため計画の時期を図ることができず、専門職の公益相談会は延期としました。

5. 関係医療機関との連携及び感染対策

- ⇒ 津山クリニックや地域医療機関と連携し、入居者（嘱託医定期回診）、利用者、職員

（定期健康診断実施）の健康維持と健康管理の徹底に努めました。

- ⇒ 歯科による定期訪問診療及び指導に基づく日常の口腔ケアの実施に努め、誤嚥性肺炎の防止に力を注ぎました。
- ⇒ 特に新型コロナウイルス及びインフルエンザについては、新規入居時や新規ショートステイ利用時は抗原検査の継続を行い、安心・安全を確保した上で利用をいただきました。
- ⇒ 職員も同様に施設指示の抗原検査や私用による抗原検査を必要に応じ行い、安心・安全を担保し職務に就くことを継続しました。

6. 栄養の管理

- ⇒ 食事の内容及び提供の方法は、食事摂取基準を満たす献立になるよう委託業者と協力し定期での給食会議や厨房ミーティングにおいて、食事の形態を密に相談し、入居者、利用者様の食事の内容や栄養の充実に注力しました。
- ⇒ 常に情報を共有し改良を繰り返し行いながら入居者、利用者様に安心安全で生活習慣病予防や改善となるよう、心から満足いただける食事を提供しました。
- ⇒ 嗜好調査を実施しその評価分析を用いて利用者様の要望に合った食事を提供するように心掛け、誤嚥事故防止にも注力しました。
- ⇒ LIFE（栄養マネジメント強化加算）の取得に基づき、入居者様の栄養状態の維持及び改善を図り、自立した日常生活を営むことができるよう、各入所者の状態に応じた栄養管理を計画的に実施することができました。
- ⇒ 衛生的な厨房環境の整備に配慮し、特に食中毒の発生やコロナ感染症のリスクの回避に努めました。

7. 機能訓練

- ⇒ 看護職員により、個人の状態に適した機能回復訓練を実施し自立支援、重度化予防に役立てました。
- ⇒ 介護職員により日常生活上の体操、機能訓練やレクリエーション、認知機能減退予防のための訓練等を実施し重度化防止の訓練にも役立てました。

8. 入居者・利用者への処遇について

- ⇒ 満足度アンケートを継続的に2回/年実施し、CSの結果を運営改善に活かします。アンケートについては未実施のため実施できるアンケートを検討しました。
 - ⇒ 家族様と各専門職や看護職、介護職による多職種間ケアカンファレンス等の情報共有がなされる場をアポイントにより定期的に作り、円滑なコミュニケーションを図り続けます。
- 家族様とのアポイント取得については感染状況及び流行によっては中止とし、電話、

お手紙にて報告、連絡、相談を密にとり健康状態を報告しました。

9. 地域交流、ボランティアの活用（コロナ、インフル感染状況により中止）

⇒ 学生及び各種ボランティア（園芸、傾聴、メイク、習字、俳句、リトミック）については感染状況により中止とし、職員の知恵と協力により変化のある催事を開催し、入居者・利用者の自立支援を目的とし参加の喜びを健康維持につなげました。

10. ユニットケアの確立と特養・ショートステイの効果的活用の推進

⇒ 特養、ショートステイの意義と効果については、地域の在宅介護者に広く周知し、介護上の課題解決のためにあかりを活用していただきました。
⇒ 各事業所等へ長期的な予約の利用を推進することにより、ショートステイについてもロングショート利用までに幅広く対応しました。（新規受入時はコロナ及びインフルエンザの感染防止対策を徹底しました）

11. 情報発信・共有・広報啓発

⇒ ホームページに取り組みや各種行事の状況を紹介すると共に、福祉施設としての情報開示を行いました。また、家族様への新型コロナウイルス及びインフルエンザに関する情報、また、面会に関する取り組みや、月間レクリエーション行事結果等について定期案内にて実施しました。
⇒ 感染対策の一環としてタブレット等の活用によるオンライン面会を継続しつつ、感染状況を加味しながらコロナウイルス及びインフルエンザ感染の状況に対応した面会方法でご家族様に安心を提供させていただきました。
⇒ 岡山県の情報公表システム等を活用し、積極的な情報公開をすることで施設経営の透明性を図りました。

以上、リスクマネジメントの強化など中長期的な重要課題への対応を含め、令和6年度事業も入居者、利用者、地域の潜在的な需要のある人々のあらゆるニーズに対応できるよう努めました。

今後も多種感染症の感染予防を徹底しつつ、あかり高齢者介護事業を活発的に推進します。

2. 年間行事及び各種委員会

研修についてはオンライン研修に加え感染状況を確認しながら、会場参加が可能な場合は状況に応じて研修に参加しました。また、行事・イベントについても近隣の感染状況を確認しながら、様々な工夫や感染防止対策を徹底した上で、各ユニット単位で開催し入居者、利用者様に楽しんでました。

(1) 年間レクリエーション行事

行事	内容等
4月 お花見会（桜）	あかりお花見 ⇒弁当感染防止を徹底し各ユニット又地域交流の活用にて開催
5月 春ドライブ	近隣ドライブ、自宅支援 ⇒可能な範囲で可能な入居者様対象に実施
6月 運動会	各ユニット運動会 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
7月 七夕会	各ユニット短冊設置、七夕三色そうめん ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
8月 夏まつり	各ユニットゲーム、駄菓子屋台開設・祭食事 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
9月 敬老会	各ユニット高齢敬老表彰、記念品贈呈 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
10月 収穫祭・秋ドライブ	近隣ドライブ、買い物、自宅支援 ⇒可能な範囲で可能な入居者様対象に実施
11月 文化祭	作品作成、展示、あかり喫茶/お茶会の開催 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
12月 クリスマス会	各ユニット開催、ケーキ作り、Xmasプレゼント ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
1月 新年会	各ユニット新年挨拶、お雑煮、ぜんざい ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
2月 節分祭	各ユニット開催豆まき、鬼退治 ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催
3月 ひな祭	各ユニット開催お雛様展示、おやつ作り ⇒感染防止を徹底し各ユニットにおいて開催

(2) 各種委員会及び会議

●メンバー構成●

施設長、看護・介護職長・介護長、看護主任・ケアマネ主任、生活相談員、管理栄養士、各ユニット・リーダー、介護スタッフ、事務主任

各委員会においてメンバー構成し定期開催を行いましたが、委員会、会議、研修の開催は、その開催時期の近隣の多種感染状況を確認しながら開催し、また、開催中止とする場合は書面による議決を行いました。

●各種委員会及び会議実施状況

会議の名称	実施状況	会議の主な議題
・カンファレス・朝礼	毎朝	・入居者。利用者当の状況確認・ショート利用確認・業務、行事報告、連絡事項・情報交換・等
・運営委員会	第1. 3月曜/月	・随時施設の課題、要望、重要事項等の施設の管理運営に関する事
・職員連絡会議	第1月曜/月	・毎月時の報告事項、課題事項の提案、立案等の検討
・リーダー会議	1回/月	・看護、介護、支援相談全般、給食等に関し課題、要望事項等
・感染防止対策委員会/研修	1回/月・4回/年	・感染症等対策を検討、感染症知識のレベルアップ等
・ヒヤリハット報告検討会	第1月曜/月	・危険内容の確認、ヒヤリハット共有等状況報告、対策立案等
・事故防止検討委員会/研修 ・安全対策委員会/研修	第1水曜/月 随時 研修2回/年	・各ユニットで検討された事例に基づき、事故防止対策を検討、併せて研修も実施、施設管理 ・災害防止・訓練
・褥瘡予防対策委員会	4回/年・随時	・褥瘡予防の対策の検討及び研修
・身体拘束廃止委員会	2回/年 1回/ 3ヵ月（勉強会）	・身体拘束をゼロにする為には、状況の把握及び勉強会研修
・ケア会議（ご家族参加）	随時	・個別の介護プランの見直し及び今後の介護方針の検討等
・給食会議・厨房会議	第1月曜/月	・行事食、業務改善、献立の検討、入居者の給食について等、委託業者も参加すると同時に厨房でのコミュニケーションを図っている
・栄養ケア会議	第1月曜/月	・入居者の健康状態、栄養状態のモニタリング、スクリーニングを行う
・看取り委員会	4回/年・随時	・看取りの入居者の状態把握、報告や看取りに対する検討、PDCAサイクルの検討等
・レクレーション委員会	1回/月	・毎月各種の行事計画及び行事開催、反省会等
・入居判定会議	1回/月・随時	・現状把握、入居者判定の検討等
・苦情処理委員会	随時	・苦情に対する確認、把握、検討等、再発防止の検討
・第三者委員会	2回/年・随時	・外部委員（評議員、監事、民生・児童員）への報告及び助言
・腰痛予防対策委員会/研修	2回/年	・腰痛対策、介護の手法の検討及び介護ロボットの検討等
・ミールラウンド （摂食維持管理）	1回/月	・誤嚥が認められる人、誤嚥の可能性の大きい人を対象に食事風景を他職種で見て回り、胃瘻、経管栄養になることなく、口から食べていただく検討をする
・入浴委員会 ・排泄/褥瘡委員会 ・口腔ケア委員会 ・虐待防止/接遇委員会 1回/月の実施		

1. 施設事業運営

(1) サービス区分

① 特別養護老人ホーム

高齢により身体または精神上に著しい障害があり、常時介護が必要かつ居宅での介護が困難な方へ入所サービスを提供しました。

また、新規入居者の受け入れは、新型コロナウイルス感染症防止対策の一環として、令和6年度も施設独自に抗原検査を実施した上で、安全にご入居いただきました。

また、特養並びにショートステイにおいて、新型コロナウイルスや季節性インフルエンザ感染症拡大防止対策として、陰圧装置を1日あたり8時間、365日稼働することにより、多種に渡る感染症拡大を阻止することができ、職員一丸となり大きな介護事故もなく質の高い介護ができました。

また、外部との接点として、地域包括及び各介護事業所との連携も多種感染症防止対策を施した上で、可能な範囲で連携推進を図りながら、新規入居者や利用者様が円滑にご利用いただけるよう協力いただきました。

最後に、社会福祉法人の公益的取り組みの実施や、地域福祉法人で構成する『勝央町福祉ネット金時』の連携により、地域の社会福祉に貢献できるよう活動しました。(内容は下記(10)の2、公益活動における地域貢献としてのとおり)そして、地域包括ケアの構築を目指して事業活動に取り組みました。

1年間を通して特養入居の平均稼働率はコロナ罹患者はゼロと防止策は万全ですが、入居者の高齢化による入院が増え95.1%の実績に終わりました。稼働率は前年度比98.5%と伸び悩み、介護報酬収入では前年度を下回ることとなりました。

② ショートステイ

ショートステイは、介護予防及び要介護認定を受けている在宅の高齢者に対し、家庭介護が困難な方を受入れ、介護者の負担軽減を図るといった在宅介護の本質的な役割を果たしました。

また、ロングショートステイの利用に加え、ユニット職員がこれまで蓄積した介護力を発揮し利用者様を選ばない幅の広い受け入れが実績に作用しております。

令和6年度ショートステイ利用の平均稼働率は79.2%の利用実績となりました。

介護報酬収入では前年度とほぼ同様に実績を残すことが出来、稼働率では前年度比106%となりました。

新型コロナウイルスの抗原検査及び季節性インフルエンザ検査に関しては、令和6年度も特養のみならず、ショートステイでも新規利用者及びリピートによる定期利用についても、利用時は毎回必須として検査を実施し、安心・安全を担保に利用いただきました。(ショートステイ利用時：令和6年度利用時抗原検査数(315名/年))

コロナが5類に移行されてから現在も地域の社会福祉インフラとして「うつらない」

「うつさない」「持ち込まない」また、「手洗い」「うがい」「マスク」「換気」をモットーに職員に周知し、多種の感染防止対策が行き届いた、安心・安全な施設運営を行っております。

(2) 特養・ショートステイ利用者数

① 特別養護老人ホーム

定員50名 年間延べ利用者数 17,360名(前年度比98.0%)
 1日平均47.6名(前年比98.3%)
 月間平均利用者数 1,447名(前年度比98.1%)
 月間平均稼働率95.1%(前年度比98.5%)

② ショートステイ

定員10名 年間延べ利用者数 2,890名(前年度比105.2%)
 月間平均利用者数 240名(前年度比104.8%)
 月間平均稼働率79.2%(前年度比106.0%)

③ 入所者の状況

- ・各月末入所者数の年間合計 590名(月平均49.2名)(前年度比99.3%)
- ・各月末入院者数の年間合計 36名(月平均 3.0名)(前年度比112.5%)
- ・新規入所者数の年間合計 20名(月平均 1.6名)(前年度比100%)
- ・退所者数の年間合計 20名(月平均 1.6名)(前年度比100%)

	月末入居者数	入院者数	新規入居者数	退去者数
4月	50	3	0	0
5月	48	3	0	3
6月	47	5	3	4
7月	49	3	2	0
8月	50	2	2	0
9月	50	3	0	0
10月	50	3	2	2
11月	50	5	2	2
12月	48	4	1	3
1月	50	0	1	1
2月	48	3	1	4
3月	48	2	3	1
合 計	590人	36人	20人	20人

④ 特養・年齢別・性別の状況（下図－令和7年3月31日現在）

年齢 性別	65歳 未満	65～ 69歳	70～ 74歳	75～ 79歳	80～ 84歳	85～ 89歳	90～ 94歳	95歳 以上	計	平均 年齢
男性	0	0	0	2	2	2	3	3	12	87.9歳
女性	0	0	0	0	4	8	12	14	38	91.8歳
計	0人	0人	0人	2人	6人	10人	15人	17人	50人	89.8歳

⑤ 令和6年度末 特養・要介護度別の状況（下図）

	要支援	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
人数	0人	0人	0人	8人	25人	17人	50人

（3）利用者サービス

●健康管理

① 津山クリニック嘱託医とあかり双方の看護師が密に連携し健康管理の充実を図り

ました。また、インフルエンザワクチン接種やコロナワクチン（有料）接種8回目、

を希望される入居者様と職員の接種を完了しました。

② 協力歯科医師の往診、歯科医師と歯科衛生士による口腔ケア及び口腔ケア指導・研修に注力しました。長期的な効果として、引き続き誤嚥性肺炎のリスクが軽減されました。口腔ケアの充実は感染予防としての側面や効果に繋がる事を研修で習得し、新型コロナウイルス感染症予防策としても口腔ケアに注力しました。

③ 多職種連携での感染防止対策委員会並びに職員連絡会議開催の中で、感染症対策に注力した結果、令和6年度もコロナのみならず、インフルエンザ等を含めた多種全ての感染症について、常に感染予防策の周知徹底に努め施設入居者、利用者様の健康と生命を守る一方、職員の感染リスクを低減させるよう、全職員が力を合わせ、感染予防と手厚いケアの両立を協力しながら取り組みました。

（4）行事、レクリエーション、地域交流等、ボランティア行事

下記、全ての開催においては、コロナ及びインフルエンザの感染防止対策を講じながら実施し、対策を詳細に伝達しています。（但し、開催を中止する場合もありました。）

●年間定例行事（ボランティア行事含む）

- ・毎月定例－運営会議／2回、入居判定会議／1回、口腔ケア指導／4回、職員連絡会議、看取り委員会、事故防止委員会、安全対策委員会、給食会議／1回、理美容／1～2回、レク委員会／1回、嘱託医回診1回（50名）、石井会計月次会計報告実施／1回、等、
- ・4月度－レク行事「お花見弁当会／感染防止徹底により施設内各ユニットにおいて実施」開催、理美容
- ・5月度－開設お弁当、すみれ会環境整備、レク行事「春のドライブ実施（対象者、場所、手法は要相談の上、実施）」、監事監査、定期貯水槽清掃、北部訓練校実習生2名受け入れ実施、あかり喫茶開催、評議員選任・解任委員会、定期玄関ドア点検、理美容
- ・6月度－レク行事「各ユニット運動会実施／感染防止徹底の上、実施」、第2回理事会開催、第1回評議員会実施、第1回自衛消防避難・消火訓練及び災害避難訓練実施、第1回消防設備定期点検実施、美作高校1名／3年生介護実習受入、あかり全館停電点検、美作大学管理栄養科2名／3年生実習受入、理美容
- ・7月度－レク行事「各ユニット七夕会／感染防止対策の上、実施」、かき氷提供／入居者・利用者・職員、定期水道水質検査、あかりビヤガーデン実施、第1回実務者研修あかり開催、美作高校2名／2年生介護実習受入、理美容
- ・8月度－レク行事「各ユニット夏まつり／感染防止対策の上、開催」、第2回・第3回・第4回、ソフトクリーム提供／入居者・利用者・職員、実務者研修あかり開催、職員定期健康診断、理美容
- ・9月度－レク行事「各ユニット敬老会及び表彰／感染防止対策の上、開催」、第5回・第6回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、敬老弁当、第1回安全対策及び事故防止対策職員伝達研修、第1回たん吸引2号基本研修、美作高校2名／2年生介護実習受入、外部研修第1回ユニ・チャーム、理美容
- ・10月度－レク行事「秋のドライブ感染防止対策の上、実施（対象者、場所、手法は

要相談の上、実施)」、すみれ会及び慰労会、第5回実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、第8回目有料コロナワクチン接種希望者実施(入居者様・役職員)、おやつ喫茶/感染防止対策の上、各ユニット実施)、インフルエンザワクチン接種実施(入居者様・役職員)、第2回外部研修ユニ・チャーム研修、第4回喀痰吸引研修施設内感染防止対策の上、開催、各ユニット天井及びエアコン清掃、セコムバッテリー交換(事務所)、上半期第1回第三者委員会開催、岡山県知事及び衆議院議員あかり不在者投票開催、職員慰労会、第9回最終実務者研修施設内感染防止対策の上、開催、理美容

- ・11月度ーレク行事「文化祭作品展示/各ユニット、園芸福祉(ボランティア)、北部訓練校実習生受入れ実施(4名)、第9回実務者研修施設内感染防止対策の上、実施、第1回第三者委員会開催、美作高校3年実習生受入、第5回喀痰吸引研修施設内感染防止対策の上、開催、勝央町民生委員施設奉仕作業、第2回消防避難誘導訓練及び災害垂直避難誘導訓練(あかりBCP)、入居者100歳の祝い、おやつつくりピザ焼き提供、各ユニット駄菓子売店開催
- ・12月度ーレク行事「各ユニットクリスマス会〜25日、感染防止対策の上、実施」、勝央町民生児童委員慰問、あかり喫茶開催、東消防署立入検査、施設構造点検、第2回定期消防設備点検
- ・1月度ー 新年互例会開催、レク行事「新年会/感染防止対策の上、各ユニット実施」、令和7年藤暢会新年互例会、美作高校2年生実習受入
- ・2月度ー レク行事「節分祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、エレベーター点検、美作高校2年生実習受入
- ・3月度ー レク行事「ひな祭/感染防止対策の上、各ユニット実施」、第3回理事会開催、第2回評議員会開催

(5) 職員待遇及び職員採用・退職の状況(令和6年3月31日現在)

●職員	●常勤数	●非常勤数
嘱託医(津山クリニック)	1名	1名
施設長	1名	
事務主任	1名	

介護・看護職長		1名
看護主任	1名	
看護師		5名
介護長	1名	
介護職員	26名（内介護福祉士23名）	9名（内介護福祉士3名）
*認定特定行為業務従事者（第2号）11名／25名中		
主任・介護支援専門員	1名	
生活相談員	2名	
管理栄養士	2名	
歯科衛生士		1名
宿直員		2名
運転員		2名
清掃員		2名
計	36名	23名

●下図一（令和5年度末から令和6年度末現在）

	施設長	事務員	生活 相談員	介護 支援 専門員	介護 職員	看護 職員	管理 栄養士	嘱託医	宿直他	合計
令和5年度職員数	1人	1人	2人	1人	34人	6人	1人	1人	5人	52人
採用	0	0	0	0	1	1	1	0	2	5人
退職	0	0	0	0	-2	0	0	0	-2	-4人
業務異動	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0人
令和6年度末小計	1人	1人	2人	1人	33人	7人	2人	1人	5人	53人

●定年退職者 1名（令和6年度再雇用予定2名）

●実務者研修終了者 0名

●介護福祉士合格者 0名

●認定特定行為業務従事者（第2号）修了者 4名

●健康管理

年2回の健康診断の実施。津山クリニック医師、看護師による健康指導を行いました。

●労務管理

管理者、役職者による定期個別面談を行い、きめ細やかな意思疎通を図りました。

●職員外部研修及び会議等

（全国老人福祉協議会、全国経営者協議会、岡山県主催、岡山県社会福祉協議会、岡

山県看護協会、岡山県介護福祉士会、岡山県ケアマネ協会、各市町村主催、他主催等)

当初に予定されていた研修は、令和6年度のコロナ5類移行後は、各機関開催の研修全般が会場参加型になりつつも、リモート研修も多数開催がありました。

また、下記とおり感染防止の観点から研修参加を行いました。

対象職種	時期	場所	研修者	内容
施設長	R6. 5. 27	津山文化センター	有田 卓司	公正採用選考人権啓発推進員研修
	R6. 6. 14	特養のどか		社会福祉法人桜楽会評議員会
	R6. 7. 9	美作高等学校		美作高等学校就職説明会
	R6. 7. 18	岡山きらめきプラザ		市町村域法人ネットワーク・協働促進会議
	R6. 10. 4	美作保健所勝英支所		R6 年度給食施設管理者研修会
	R6. 11. 13	ハローワーク津山		介護就職デイ説明会
	R6. 11. 28	勝央町保健福祉センター		勝央町保健福祉推進委員会
	R6. 12. 6	ハローワーク津山		シニアワーク津山就職説明会
	R7. 2. 12	美作保健所勝英支所		感染症対策研修会
事務主任	R6. 7. 12	津山商工会議所	児島 明人	笹井労務士セミナー
	R6. 10. 10	津山商工会議所		R6 年度第1～2回防火・防災管理者講習
	R6. 10. 11			
	R7. 2. 5	あかり会議室（リモート）		R6 年度事業者集団指導
主任 介護 支援専門員	R6. 3. 21	岡山	佐藤 建子	ケアマネ協会研修
	R7. 3. 3	勝央町		福祉講演会
管理栄養士	R6. 10. 4	美作保健所勝英支所	佐野 治美	R6 年度給食施設管理者研修会
ユニット リーダー 並びに 介護士	R6. 7. 19	岡山きらめきプラザ	藤原 朋美	初任者重点テーマ強化研修
	R6. 8. 20	岡山きらめきプラザ	小玉智代子	第1回～3回介護福祉士実習指導者講習会
	R6. 8. 21			
	R6. 8. 28			
	R6. 9. 19	あかり地域交流	鈴木 瞳	第1～5回たん吸引2号基本研修
	R6. 9. 27	あかり地域交流	坂手 紗弥	第1～5回たん吸引2号基本研修
	R6. 10. 10	あかり地域交流	近藤久美子	第1～5回たん吸引2号基本研修
	R6. 10. 18	あかり地域交流	奥 拓海	第1～5回たん吸引2号基本研修
	R6. 11. 8	あかり地域交流		第1～5回たん吸引2号基本研修
	R6. 10. 10	岡山きらめきプラザ	小玉智代子	第4回介護福祉士実習指導者講習会

●施設内職員研修（感染防止対策徹底の上、開催）

R6.05.08 ・第1回高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員

R6.05.08 ・第1回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員

- R6.07.03 ・第2回高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.07.03 ・第2回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.08.21 ・(外部)第1回感染防止対策研修(有)ひろはた)
- R6.08.29 ・(外部)第2回感染防止対策研修(有)ひろはた)
- R6.09.04 ・第3回高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.09.04 ・第3回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.09.26 ・(外部)第1回おむつのあて方・はき方職員研修(ユニ・チャーム株)
- R6.10.03 ・(外部)第2回おむつのあて方・はき方職員研修(ユニ・チャーム株)
- R6.11.06 ・第4回高齢者虐待防止委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.11.06 ・第4回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R6.12.16 ・(外部)カスタマーハラスメント対応研修／クレームを受けた時の適切な対応(顧問社会保険労務士笹井事務所)
- R7.02.05 ・第5回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.02.05 ・第5回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.02.26 ・(外部)第1回腰痛予防研修／排泄スカイリフト IR デモ機(ユニ・チャーム株)
- R7.03.05 ・第6回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.03.05 ・第6回身体拘束廃止検討委員会職員研修／講師西本、赤堀相談員
- R7.03.12 ・第1回褥瘡(床ずれ)指導職員研修／講師猪子看護主任
- R7.03.19 ・第2回褥瘡(床ずれ)指導職員研修／講師猪子看護主任
- R7.03.25 ・第1回口腔ケア指導職員研修／講師飯田歯科衛生士
- R7.03.27 ・第2回口腔ケア指導職員研修／講師飯田歯科衛生士
- R7.04.08 ・(外部)第2回腰痛予防研修／排泄H a g T1 デモ機(ユニ・チャーム株)
- R7.05.07 ・第2回事故防止委員会研修・安全対策委員会研修／職員連絡会議

(6) 施設管理(固定資産)

- ・モモユニットガス給湯器1台(パーパス50号)、配管カバー取替交換しました。
- ・ナシユニット小型電気温水器1台、排水ホッパー、配管接続取替交換しました。
- ・入居者健康観察用体重計(バリアフリースケール)1台購入しました。

(7) 実習生受入れについて

岡山県立北部高等技術専門校 ケアサービス科の実習生(2回/年間受入れ)については1回目の5月には感染対策の上、2名の実習生を受入れ開催しました。また、11月にも感染対策の上、4名の実習生を受入れ開催しました。

また、美作大学生生活科学部食物学科実習生(1回/年間受入れ)6月に感染対

策の上、2名の実習生を受入れ開催しました。

今年度より美作高校介護実習生3年生を1名、5月から6月と11月に受入をし、また、同美作高校介護実習生2年生を2名、7月と9月と12月に感染対策の上、受入れ開催しました。

- (8) 2024年、夏のボランティア並びにインターシップ受入れについて
施設希望者はありませんでした。

- (9) 研修機関取り組みとして

介護職員実務者研修終了課程取得に向けた研修と、新たに認定特定行為業務従事者(第2号)喀痰吸引基本研修の開催を専門研修機関である、倉敷市の社会福祉法人内業者様と提携し、令和6年度もあかりを県北部の研修会場として感染対策を行いながら引き続き地域貢献として地域交流スペースを会場として提供しました。

内・外部の研修希望介護士が参加し、実務者研修並びに喀痰吸引等(2号)基本研修(あかり職員4名受講)を開催することができました。

- (10) 公益活動における地域貢献として

勝央町内にある5福祉法人で活動する「勝央町福祉ネット金時」の連携により、地域の社会福祉に貢献できる活動や多様なボランティア活動の実施により、地域包括ケアの構築を目指し、地域貢献活動を行いました。特に小学校での福祉体験出前講座の開催も増えました。

また、近年の起きうる甚大なる災害に備え、勝央町との連携により災害ボランティアセンター設置訓練にも参加しました。

高齢者福祉の理解や高齢者の実情について訴求することができました。内容は下記とおりとなります。

令和6年度 勝央町福祉ネット金時事業報告

1. 会議の開催 出席者ー施設長 有田卓司

事 項	日 程	場 所	内 容
総会	R6.5.17	福祉センター	R5 年度事業報告、会計報告、監査報告、役員改選 R6 年度事業計画、令和6年度予算案、座談会
役員会	R6.7.11	福祉センター	災害対策事業について
役員会	R6.10.15	あかり	災害対策事業について 災害時等給食施設相互支援体制構築について

			フード&ライフドライブへの協力について
役員会	R6.12.3	あかり	災害対策事業について 災害時等給食施設相互支援体制構築について
役員会	R7.3.13	福祉センター	災害対策事業について 令和7年度総会について

2. 事業の実施・参加 出席者－施設長 有田卓司、事務主任 児島明人
生活相談員 西本弘樹

事 項	日 程	場 所	内 容	主 催
市町村域社会福祉法人ネットワーク情報交換会	R6.7.18	岡山 きらめき プラザ	各取り組みの紹介 など	岡山県社会福祉協議会 30 名参加
フード&ライフドライブ活動への協力	R6.7.29 ～8.2	各 法 人 に て実施	食料品などのお裾 分け活動に協力	勝央町ボランティア連絡協議会
フード&ライフドライブ活動への協力	R6.12.2 ～12.6	各 法 人 に て実施	食料品などのお裾 分け活動に協力	勝央町ボランティア連絡協議会
災害時のボランティア養成講座	R6.11.20	福祉 センター	災害ボランティア に関する講座	勝央町社会福祉協議会・勝央町福祉ネット金時など 8 名
災害時のボランティア養成講座	R6.11.27	福祉 センター	災害ボランティア に関する講座	勝央町社会福祉協議会・勝央町福祉ネット金時など 8 名
福祉体験出前講座	R7.1.21	勝間田 小学校	車椅子体験	勝間田小学校 5 年 勝央町社会福祉協議会約 70 名参加
福祉体験出前講座	R7.1.31	勝央北 小学校	アイマスク体験	勝央北小学校 4 年 勝央町社会福祉協議会約 40 名参加
福祉体験出前講座	R7.2.3	勝央北 小学校	高齢者体験	勝央北小学校 6 年 勝央町社会福祉協議会約 40 名参加
福祉体験出前講座	R7.2.18	勝央北 小学校	車椅子体験	勝央北小学校 6 年 勝央町社会福祉協議会約 40 名参加

令和 6 年度 事業報告書

津山クリニック

概要

平成 30 年のクリニック開設から 7 年が経過しました。公益事業として地域密着と地域貢献を掲げクリニックの運営を行ってきました。

令和 2 年の新型コロナウイルス初感染確認から 5 年が経過しました。変わらず猛威を振るう新型コロナウイルスや多様化する各感染症に、可能な限りの感染防止対策を行いながら、途切れることのない安定した地域医療サービスを提供しました。

乳幼児から高齢者まで、幅広い年齢層の患者様が利用されています。当クリニックの基本理念として掲げていた、地域のかかりつけ医としての「保健室」のような存在が具現化されてきたと考えています。

事業運営

① 新型コロナウイルス感染症等対策（5 類移行後）、各種感染症対策

新型コロナウイルス感染症、多様化する各種感染症対策については、職員を含めた検温実施を徹底し、発熱症状のある患者様の個別対応を行うことにより、一般患者様との接触を回避し感染拡大防止を行いました。

新型コロナウイルスのワクチン接種については、有料となりましたが、積極的に推進し、地域の感染予防、感染拡大防止に尽力していきます。

② リウマチ専門外来

特定日にリウマチ専門外来を設置しています。

リウマチに悩む患者様に寄り添い、高度かつ専門的な医療を提供する中、数多くの喜びの声、感謝の声が寄せられています。各医療機関からの紹介やクチコミを含め、リピーターを数多く囲んでいます。

③ 軽度認知障害検査（MCI）

健常者と認知症の中間段階である、軽度認知障害の検査促進を行っています。

軽度認知障害段階において、適切な予防や治療を行えば、認知症そのものの発症を遅らせる効果が期待できます。今後も注力し、その後の受診に繋がりたいと考えております。

④ 他拠点との連携

社会福祉法人藤嶋会の医療部門を担うクリニックとして、「特別養護老人ホームあかり」の入居者様と職員、「東和ほほえみ保育園」の職員、その他関係者について、希望者全てにコロナワクチンやインフルエンザワクチンの接種を実施し、法人全体に貢献しました。

⑤研修

地域医療福祉の担い手として、自己研鑽を図り、高いレベルの医療サービスを行うための学会や、研修への参加を積極的に実施し、新しい知識の医療現場への還元に努めています。

1日あたりの来院患者数推移

患者数/1日あたり(人)

	前期実績	当期実績	増減	増減率
4月	115.6	128.8	13.2	111.4%
5月	123.5	138.7	15.2	112.3%
6月	122.8	133.6	10.8	108.8%
7月	126.6	129.3	2.7	102.1%
8月	133.2	142.3	9.1	106.8%
9月	136.5	136.5	0.0	100.0%
10月	137.8	133.6	-4.2	97.0%
11月	135.9	139.7	3.8	102.8%
12月	126.1	140.4	14.3	111.3%
1月	138.6	146.7	8.2	105.9%
2月	132.2	142.1	9.8	107.4%
3月	138.0	129.1	-8.9	93.5%
平均	129.7	136.7	7.0	105.3%

今後のクリニック運営

公益事業として開設時目的に掲げた『利用者様、患者様が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活生活を地域社会において営む』ことができるよう医療支援を続けていきます。

新型コロナウイルスの5類移行後、有料となりましたが感染防止対策として、新型コロナウイルスワクチン接種のニーズは高いと考えられます。インフルエンザも含め

ワクチン接種機関として、地域貢献を果たしていく方針です。

令和7年4月から骨粗鬆症や動脈硬化に関する検査、診察などの予防医療を開始します。

令和7年4月から稼働を始めたデジタルカルテでは、予約システム等が充実しています。新システムを活用し、効率化や接触機会を減少させた感染防止対策など、メリットの高い診療方法の提供により、地域社会に寄り添った「保健室」として、安心、安全なクリニック運営を行っていきます。

令和6年度 事業報告書（案）

東和ほほえみ保育園岡山

<概要>

企業主導型保育事業として、保育指針に則り、企業（東和薬品株式会社）の従業員の働きやすい職場環境づくりを支援するため、また、地域住民の子育てサポートを行うことを目的として保育事業に取り組みました。

今年度は、今までできなかった保育研修に取り組みました。勝央町勝間田保育園をはじめ、相模原市で最も入園希望が多いと言われる RISSHO KID'S キラリ、香川県で口育活動を行っている企業主導型保育園 ごうだ保育園1・2・3 forBABYs に見学研修を実施しました。各園での取り組みを学び、現在の当園の保育内容に足りないもの、今後の保育に必要な考え方に気付くことができました。その研修をきっかけに保育環境をさらに見直し、子どもが自ら遊びを選択し、集中して遊びこめる環境づくりに取り組みました。

また、以前から取り組んでいたさくら・さくらんぼリズムをより深く学ぶために、園内研修に講師を招き、保育士が基本から学び直しました。リズム活動を行う意義、一つ一つの動きの着目点、介助の仕方など細かいけれども大切なことを学ぶことができました。その研修で学んだことを日々の保育で実践し、1年間継続して取り組むことで、子ども自身がリズム遊びを楽しみ、ピアノの音を聞いて、自ら動くことのできる場所まで成長しました。2月の参観日では、保護者にもリズム活動の意義を学んでいただき、親子でリズム遊びを体験することで、家庭でも実践してくださる方がありました。園と家庭が同じ目標をもって取り組むことのできるリズム遊びは、来年度以降も継続し、子どものたくましい心と丈夫な体と自ら考える力をもつ脳を育てていきたいと思っています。

感染症対策の実施については、当園としては、園内での感染拡大を防止するため、空気清浄機の使用や玩具、保育室の消毒などでの環境整備、園児とご家族、職員と同居家族の体調チェックカードを継続して実施。園児の発熱後24時間の自宅待機依頼と発熱時の受診協力依頼等も継続して実施しました。年4回の感染症対策委員会では感染症についての情報を共有し、感染症拡大防止の取り組みを徹底しました。園内での大きな感染症流行もなかったもので、今後も取り組みを継続いたします。

また、年間安全計画に基づき、計画に沿って安全教育及び各活動を実施。毎月の安全対策委員会で、園の事故防止マニュアル、事故発生時マニュアルを再検討し、職員間で共有しました。保護者にも園の安全についてご理解いただけるよう、入園進級式や掲示、お便り等での説明機会をもちました。保育園の安全、安心な運営の為、この活動は、令和7年度も継続して行って参ります。

1. 施設運営方針

保育理念 「個を大切にし、丈夫な体と豊かな心を育てる」

保育方針 「一人ひとりの子どもの個性を大切にします」

「遊びを通して、基礎的な体づくりに取り組みます」

「家庭との連携を大切にし、子どもの成長を見守ります」

保育目標 「たくましい子」「素直な子」「思いやりのある子」「考える子」

2. 施設概要

事業内容	企業主導型保育事業
定員	30名 (企業枠は3名以上、地域枠は定員の50%まで受入れ可能)
受入れ年齢	0歳児(生後6か月)～5歳児
開園日数	週6日(日・祝日は休園、但し東和薬品(株)岡山工場開業日の祝日は開園)
開園時間	基本保育時間 7:30～18:30
提供サービス	延長保育(18:30～19:30) 体調不良児保育 一時預かり保育
その他	子育て相談 等

3. 職員待遇

《常勤》

園長 1名 主任 1名 副主任 2名 保育士 6名
 看護師 1名 調理師 1名 連携推進員 1名 計13名

《非常勤》

保育士 1名 栄養士 1名 調理師 1名 計3名

4. 園児数推移

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
園児数(名)	15	16	16	19	20	20
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
園児数(名)	21	20	22	23	23	22

《 年齢・クラスの内訳 》

クラス名	年 齢	4月	5月	6月	7月	8月	9月
ぱんだ組	3歳児（名）	1	1	1	1	1	1
うさぎ組	2歳児（名）	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児（名）	5	5	5	5	5	5
ひよこ組	0歳児（名）	1	1	1	1	1	1
合 計（名）		20	20	20	20	20	20

クラス名	年 齢	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ぱんだ組	3歳児（名）	1	1	1	1	1	1
うさぎ組	2歳児（名）	8	8	8	8	8	8
りす組	1歳児（名）	5	5	5	5	5	5
ひよこ組	0歳児（名）	3	4	5	5	6	6
合 計（名）		23	23	24	24	25	25

5. 年間行事

月 日	行 事 内 容	参 加 人 数
4月1日（土）	入園進級式	親子17組、職員14名
6月22日（木）	園児歯科検診	園児20名
6月30日（金）	不審者対応訓練 （美作警察署職員立会）	園児19名、職員13名
7月8日（土）	七夕まつり	親子18組、職員10名
6月1日（水） ～9月22日（金）	水遊び・感覚遊び	全園児対象（各クラスで）
9月25日（月）	園児内科検診	園児18名（欠席者は後日受診）
10月4日（木）	消防署職員立会避難訓練 （通報訓練、消火訓練）	園児19名、職員14名
10月21日（土）	親子ふれあいデー	親子18組、職員12名
11月8日（水）	ポニーとのふれあい体験	園児21名、職員11名
12月22日（金）	クリスマス会	在園児21名（各クラスで）
1月12日（金）	とんど	各クラス時間差で参加 園児21名、職員11名
1月31日（水）	不審者対応訓練 SECOM 職員立会	園児23名、職員13名

2月2日（金）	節分	園児22名（各クラスで） 職員10名
3月4日（金）	ひなまつり	園児22名（各クラスで） 職員9名
3月18日（月）	園児内科検診	在園児23名・新入園児3名 欠席の在園児2名は後日受診

※その他 毎月実施：誕生日会、身体測定、避難訓練

6. 給食

園児の活動の源である給食は、栄養士が作成した献立を基に、食材はできるだけ国産の材料を使用し、旬のものを取り入れながら、園内調理で主食・汁物・主菜・副菜を揃えた給食を実施しています。

好き嫌いがあっても一口から食べられるように、調理方法にも工夫を凝らしています。

■ 食育活動

毎月19日を「食育の日」とし、親子で食べ物について話せる機会にできればと、旬の食材を使用した給食を提供。保護者には給食展示と共に掲示で旬の食材の栄養や調理方法について紹介しました。

■ 離乳食への対応

後期食、移行食に分けて、毎月1回面談を行いながら保護者と連携をとりつつ個々の発達状況に合わせた離乳食を提供しました。

■ 食物アレルギー児への対応

食物アレルギーのあるお子さまは、医師の診断書・指示書に基づき、保護者と面談を実施した上で、除去食を提供しました。今年度は卵アレルギー2名に対応しました。

■ 衛生管理

集団給食施設届出を美作保健所に提出しています。

また、連携推進員以外の職員は毎月検便を行っています。特に、10月～3月の感染症流行期にはノロウイルスの検便も追加して実施しています。

7. 体調不良児保育

看護師1名を配置し、園児が保育中に熱を出すなどの体調不良となった場合、保護者のお迎えまで医務室または職員室にて保育をしました。

37. 5℃以上の発熱が認められた場合は、保護者に連絡を取り、希望があれば体調不良児保育を実施しました。

《 令和6年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	12名	7名	10名	11名	19名	19名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	18名	8名	12名	16名	2名	名

8. 延長保育

保護者就労時間の長時間化により、毎月の延長保育利用がありました。

《 令和6年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	3名	1名	1名	2名	0名	2名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	1名	0名	1名	4名	9名	14名

9. 一時預かり保育

今年度は、4月に園児数20名でスタートし、空き保育室がない状態でしたので一時預かり保育は実施せず、東和薬品株式会社祝日開園日の東和社員のお子様の保育と、退園児の退園後の保育に限り、実施しました。

※ 利用登録者数：家庭数11／子ども11名

《 令和6年度 月別のべ利用者数 》 ※ 年間のべ利用者数 合計 25名

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
利用数	17名	0名	0名	0名	2名	0名
月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用数	2名	2名	0名	0名	0名	2名

10. 子育て相談

今年度は、子どもの発達に心配を持つ保護者や、子育てに不安を抱える保護者とゆっくり話す時間を設け、情報を共有することで、保護者が安心して預けられるように、また、安心して保育ができるように、子育て相談を行いました。

実施回数：在園児保護者 4 名（のべ 6 回）

場 所：職員室

内 容：「子どもの入院時の状況とその後の対応について」

「食物アレルギーの対応について」

「子どもの発達について」

「子どもの生活リズムについて」

1 1. 職員研修

保育分野、調理分野共に専門職としての自己研鑽に努める為、毎月 1 回の職員会議を行い、保育実践の振り返りと評価を行い、保育の質の向上と職員全体の共通理解や意識の統一を図りました。

【研修】

月 日	研 修 内 容	主 催	参 加 者
5/2（木）	「子どもの病気と怪我について」 講師：岩本眞理先生	日本こども育成協 議会	1 名
5/31（金）	勝間田保育園見学 1 歳児クラス		2 名
6/1（土）	普通救命講習 I 講師：津山圏域消防組合東消防署職員	園内研修	1 2 名
6/1（土）	さくら・さくらんぼリズム研修 講師：井並 博恵先生	園内研修	9 名
6/28（金）	RISSHO KIDS きらり 岡本、玉川見学 講師：園長 坂本喜一郎先生		2 名
6/29（土）	パワーハラスメントとクレーム対応 講師：大森かずめ先生	岡山県看護協会	1 名
8/1（木）～ 12/20（金）	令和 6 年度 企業主導型保育事業 施設長等研修	児童育成協会	1 名
8/20（火）～ 21（水）	次世代園経営者セミナー	ジャクエツ	1 名
8/3（土）	さくら・さくらんぼリズム研修 講師：井並博恵先生	園内研修	7 名
9/2（月）～ 11/1（金）	令和 6 企業主導型保育事業 保育安全研修	公益財団法人 児童育成協会	1 名
9/6（金）	令和 6 年度 給食施設従事者研修会	美作保健所勝英 支所	2 名

10/4 (金)	令和 6 年度 給食施設管理者研修会	美作保健所勝英支所	1 名
10/31 (木)	衛生推進者養成講座		1 名
11/6 (水)	さくら・さくらんぼリズム研修 (子ども達も一緒に体験) 講師：井並博恵先生	園内研修	職員 10 名
11/23 (土)	子どもの「食べる」を育む為の包括的ケア	POTT プロジェクト	1 名
11/30 (土)	令和 6 年度発達支援後援会 「子ども達と関わる上で大切にしたいこと」 講師：高山恵子医師	美作市 美作市教育委員会 親の会	2 名
12/2 (月) ~ R71/15 (水)	令和 6 年度につば保育セミナー 保育園給食における離乳食の進め方	日本保育協会	1 名
	令和 6 年度につば保育セミナー 保育現場での食育活動の実践	日本保育協会	1 名
12/6 (金) ~ R7. 1/31	「小児アレルギー疾患の正しい病態理解と適切な支援」 講師：福家辰樹先生	NPO 法人アレルギーを考える母の会	3 名
12/13 (金) ~R7. 1/31	「食物アレルギーの最新知識と学校等での緊急時対応」 講師：今井孝成医師	NPO 法人アレルギーを考える母の会	3 名
12/18 (水) ~R7. 1/31	「アレルギーの『保健指導』に必要な知識と具体的な展開」 講師：古川真弓医師	NPO 法人アレルギーを考える母の会	3 名
12/21 (土)	「保育園で起こりやすい怪我や病気児への対応」 講師：小笠原洋子先生	全国保育園保健師看護師連絡会	1 名
12/26 (木)	英田保育園見学 (給食)		2 名
R71/28 (火)	ごうだ保育園 1・2・3forBABYS 見学		2 名
R7. 2/20 (木) ~3/12 (水)	岡山アレルギー疾患後援会	岡山県、国立病院機構南岡山医療センター	2 名

12. 委員会活動

令和3年度に始めた2つの委員会活動を継続して実施しました。安心・安全な保育を目指して職員間で協議し、園内の意思統一を深めることに尽力しました。

①安全対策委員会

1か月間のヒヤリハットを検討し、事故防止に向けてのルール作りや環境改善を行い職員会議にて全職員に周知徹底を行いました。

回	日 付	主な内容
第1回	2023年 5月18日（木）	食物アレルギー児について
第2回	6月16日（金）	誤嚥・窒息防止について 来客対応マニュアルについて
第3回	5月27日（木）	「食えるときのお約束」について 誤嚥・窒息につながりやすい食べ物について 給食除去解除について
第4回	9月28日（木）	登降園時の駐車場の危険について
第5回	11月15日（水）	アレルギーマニュアルの見直しについて 園外保育に行く際のマニュアル見直しについて
第6回	2024年 1月11日（水）	アレルギー個人マニュアルについて 散歩時の園外保育の役割分担と園外保育記録簿について
第7回	2月2日（金）	園外保育役割分担表と記録表について 不審者対応訓練の反省とマニュアル改定について

② 感染症対策委員会

赤木看護師を中心に、園内の感染症対策について検討し、ルールや環境改善を全職員に周知徹底して、園内の感染症予防に努めました。

回	日 付	主な内容
第1回	2023年 5月11日（木）	感染性胃腸炎罹患児の対応について 新型コロナウイルス感染症対応について

第2回	6月2日（金）	園児発熱時の対応について 麻疹・風疹について
第3回	7月14日（金）	職員のマスク着用について 新型コロナウイルス罹患時の対応と抗原検査について 職員の体調不良時の対応について
第4回	11月8日（水）	保育所等におけるインフルエンザに係る治療証明書について 岡山県感染症情報について 「保育所における感染症対策ガイドライン」の一部修正について
第5回	2024年 2月6日（火）	嘔吐処理について 職員本人、同居の家族感染性胃腸炎に感染した場合の対応について 新型コロナウイルス関連変更事項について
第6回	3月27日（水）	発熱時の対応について 体調不良時保育について